



輝きなんせ鳥取

KINANSE TOTTORI



写真は今年度の輝なんせ鳥取講座の様子

— 目次 —

- 輝ひとく女と男ひとにインタビュー……………2～3P
- 「輝なんせ鳥取」NEWS ……………4～5P
- 「輝なんせ鳥取」今年度開催予定講座……………5P
- 図書紹介……………6P

* 輝くひとひと女と男にインタビュー *

(株)兔ッ兔(とつと) 代表取締役 前岡美華子さん



兵庫県出身の前岡さんは夫のUターンに伴い平成17年から鳥取市に移住。3人の子育てが一段落ついた平成19年からブドウ栽培に着手。国府町の農場「兔ッ兔(とつと)ファーム」で生食用とワイン用を育てています。今は栽培のみですが、将来的には自家栽培したブドウを醸造からワインの製造・販売する六次産業化することを目指して今年1月株式会社を立ち上げました。「大切な人に食べさせたいブドウ」の栽培から始まった前岡さんの挑戦はこれからも続きます。

Q.前岡さんの1日のスケジュールを教えてください。

朝5時に起きて6時には夫の弁当を作ります。それから1時間ほど事務をした後、8時に出勤して農作業。昼から16時ごろまでは暑いので屋内で事務仕事。夕方から農作業を再開、18時に帰宅して家事をする感じですね。

Q.会社の特徴は何ですか？

実は、元々人材育成を目的として農場を始めました。人が納得して挑戦できる場があればいいなと。だからワイン造りも六次産業化もその手段なんですね。色々なことにチャレンジする場、老若男女関係なくその人らしさを引き出す場、やりたいことや好きなことで暮らしていけたらいいなと。だから、様々なライフスタイルの人が集まり、つながる心地いい場所を目指しているのが特徴ですね。Facebookを見て高校生や環境大学、鳥取大学の学生さんも手伝いに来てくれます。今日は週末サポーターの保育士さんがボランティアで草刈りをしてくれます。色んな人が助けてくれるんです。宣伝は特にしていないですが、色んなことに参加してくださった方が宣伝マンとなり「兔ッ兔(とつと)ファーム」のことを広めて、そのつながりからまた新しい方が参加してという形で広がっています。



Q.最初は1アールの畑から始められたそうですが、現在ワイン用生食用合せて54アールに拡大し、ワイナリーの建物も本年度中に完成されるそうですが、地域の方はどのような反応でしたか？

ここは市街化調整区域という区分で、地域の方の協力がなければ何もできませんでした。多くの方がアドバイスしてくださり支えてくださったので、大変でしたがスムーズに進めることができました。



Q.女性ならではの視点が活かたということはあるですか？

実は、私は3人の子の母親という視点を一番大切にしています。ブドウを育てるって子育てに似ているんですね。手をかけすぎると暴れる。放っておいても暴れる。これは私の特徴でもあるんですが、母親という視点でブドウ栽培を見るようになりました。

Q.うれしいと思うことは何ですか？

人と話すのが苦手だった高校生が、ブドウ栽培を手伝っている中で小学生に手順を教えられるようになってのを見た時はうれしかったですね。そうした、人の成長が確認できたり、人材育成を謳いながら恐縮なんですけど、自分が成長できていると実感した時がうれしいですね。

鳥取市役所 職員 保木本 淳さん



2児(8歳と1歳)の父として、育児に熱心に取り組んでいる働く男性のロールモデルである保木本さん。ライフセービング活動や、最近では小学校の読み聞かせボランティアなどもしておられます。育児休暇取得は元々夫婦の約束だったそうですが、積極的に楽しみながら保木本さんならではの子育てをしておられます。

Q.育児休暇をとることへの周囲の反応はごどうでしたか？

第二子を望むにあたり、元々妻とは約束していました。両親などは、直前まで半信半疑で、男性が育児休暇を取ることに不思議な感覚があったみたいです。「自己研さんも兼ねた1年間の『育自研修』期間です」って伝えました。

Q.育児休暇中の生活の様子を教えてください。

朝5時に起きて夏休み中の長男の勉強を済ませ、毎日子ども達と海に出かけて水遊びや砂遊び。「海で子育て」が夢だったので、自然の中での子育てを存分に楽しんでいます。昼は簡単なおむすび弁当を食べて帰る。ヘトヘトになるまで遊んだ子ども達はお昼寝です。その間に夕食の準備などの家事。3時くらいに昼寝が終わるので長男の勉強のサポートや散歩。夜8時には子ども達が寝るので、そこからが自分の時間ですが、一緒に寝ちゃったりもしますね。



Q.育児休暇を取得したメリット・デメリットは？

何気ない成長の瞬間が見られた時は、すごく幸せだと感じます。次男が歩き始めた瞬間などは、勤務していたらおそらく見逃していたでしょうね。子ども達の成長にしっかり寄り添っていただける時間は本当に充実しています。もちろん煮詰まることもありますよ。子育て中の女性がノイローゼになるということも実体験としてよく分かりますね。デメリットはほとんど感じません。復職後の不安もありますが、活動範囲が広がり、子どもや子育てを取り巻く社会の状況にもますます関心が高まっていることは、今後の業務に役立てられるのではないかと感じています。

Q.男性の育児における課題は？

男性が育児について気軽に話せる場がないことですかね。県外から来られた男性が育児休暇をとって、社会とのつながりが無くなったりすると辛いだろうなという気がします。そういうサークルや活動の場があれば、煮詰まった時なんかにはすごくいい。あと、最近は気にならなくなりましたが、世間の目。ベビーカーを押して昼間歩いているとそれだけで振り返られたり。めずらしいんでしょうね。この人、こんな昼間から何してるんだろうって。(笑)

Q.これから育児休暇を取得しようという男性へ一言アドバイスはありますか。

家庭の状況やワークライフバランスに対する思いについて、早い段階からオープンにして周囲や職場の理解を得ておくことが大事だと思います。最後は、「決断力」！仕事の代役はいても父親の代役はいません。優先順位を考えて大胆に行動することは、ビジネスにも通じる能力だと思います。



取材後記

当初、仕事を頑張る女性、育児を頑張る男性という全く異なるコンセプトで取材したお二人でしたが、意外にも共通点がとても多かったのです。仕事・家庭の枠に収まらず色々な人と一緒に楽しみながら様々なことに挑戦し頑張る、自分のみならず家族を含めた周囲の人と成長し合っている姿。また、お二人ともとても地域を愛してくださっていることがとても印象的でした。

* 輝なんせ鳥取 NEWS *

デキる！男の料理教室 パスタの勧め！

(5月29日 鳥取市福祉文化会館)

週末パスタに挑戦しました！講師は、ペペネーロイタリア館の木下龍雄さん。プロの料理に触れたい、学びたいという12名が参加。将来シェフ志望の中学生も講座に参加され、アスパラの斜め切りなど様々なテクニックを学びました。作った後は親子で楽しくランチタイム♪ 終始楽しく和やかな講座でした。



いきいき女性塾

働く前に知っておきたい！社会保険の仕組み ～自分らしい働き方をめざそう～

(7月29日 鳥取市福祉文化会館)



今回の講座の対象者は女性の方。講師の社会保険労務士の西山理一さんの熱い説明に、皆さん暑さも忘れて聞き入っておられました。

様々な事例を挙げて説明され、これから再就職を考えておられる方にとっては大変参考になる講座だったのではないのでしょうか。

健康保険や公的年金の話、働く上でのいろいろな裏ワザや標準報酬の見方の説明など、大変興味深いお話をいただきました。



パパと作ろう！ 親子de木工教室

(7月31日 鳥取市福祉文化会館)

父親と子どもで工作を行う、わくわく男性塾「パパと作ろう！親子de木工教室」を7月31日、鳥取市福祉文化会館で開催しました。講師は、梨の木工房代表の藪田道男さん。11組の親子連れが参加し、親子で楽しく工作をしました。



作成したのは鳥取の県産材を使った「車のペン立て」と「こま」。ペン立てを作る過程では、ドリルを使って穴を開ける作業を体験。初めてドリルを触るといふ子どもの参加者に対し、藪田さんは「しっかりドリルのレバーを持って回せば大丈夫」とアドバイス。子どもたちは少し怖がりながらも、初めての体験に感動していました。

輝なんせ鳥取 今年度開催予定講座

日程	講座名	場所	講師	定員
10月2日(日)	アンガーマネジメント講座 ～怒りを上手にコントロールして、 前向きな私になる方法～	鳥取市福祉文化会館 3階研修室1	内田 美佐 さん (アンガーマネジメントファシリテーター)	定員いっぱいとなりました 24名
11月11日(金) 25日(金)	地域・職場でまとも役になった時に 身に付けておきたい7つの基本 ～さりげなく、まわりを味方につける方法～	鳥取市福祉文化会館 3階研修室1	来田 裕子 さん (株式会社 桜や建築設計工房)	24名
11月19日(土)	災害避難者支援から考える 私たちの暮らし	鳥取市富桑地区公民館 2階大会議室	川西 清美 さん (とっとり震災支援連絡協議会代表)	50名
12月10日(土)	女性のための再就職セミナー 再就職・転職で輝く私になる方法！	鳥取市福祉文化会館 3階研修室1	手島 由美子 さん (キャリアコンサルタント)	15名

その他にも様々な講座を予定しています。

講座情報は公式ホームページとFacebookで随時お知らせしています。ぜひお越しください♪

- ・ホームページ：<http://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1326245716728/>
- ・Facebook：<https://www.facebook.com/tottorishidanjyo>

「ひきこもる女性たち」池上 正樹 著 ベスト新書



本書のタイトルの「ひきこもる」の後の「女性たち」という文字がまず目に止まった。ひきこもる＝男性というイメージが私の中にあったからだと思う。

内閣府による2010年の実態調査ではひきこもっているのは男性が7割、女性が3割という結果であったが、この中には「主婦」や「家事手伝い」は含まれていない。しかし、ひきこもりを男性の問題とするより、女性の問題として語った方が理解は深まるのではないかと筆者は語っている。本書の中には、様々な要因でひきこもってしまった女性たちの例が載っている。結婚した女性が、結婚を機に極端に会話が減り、気付いたら外界との接触も減っているという状況も、実はひきこもり予備軍であるが、そのことに自分で気づいていないこともあるという。重症化すればうつ病になることもあるとか・・・これは他人事とは思えない。

働く男性であっても、やがては仕事を引退する時がやってくる。仕事上のつながりが無くなったその時に慌てないように、時には自分の社会とのつながり方を客観的に見るなどのメンテナンスを試みる必要があるかも・・・。

本書にはひきこもりについてのさまざまな支援も載っている。もしもの時の参考になると思う。

(F 編集委員)

10月15日(土) 会場:鳥取県民ふれあい会館
第24回 女と男とのハーモニーフェスタ
 ~自立をめざし 共に進もう 2016~

【ステージイベント】 13:00 ~ 15:30 〈ホール〉

大会宣言

男女共同参画絵手紙コンテスト表彰

13:20 ~ 13:50 朗読劇「ジェンダーって難しい？」

14:00 ~ 15:30 講演「男女が学ぶ新しい家庭科勉強法

~正しいパンツのたたみ方知ってますか?~

講師 元大阪府立家庭科教員 南野忠晴さん

入場
無料



【ワークショップ】 10:30 ~ 12:40 〈ロビー・ホワイエ〉

○展示 ○即売 ○行政相談

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

鳥取市男女共同参画センター「**輝なんせ鳥取**」
 公式 Facebook 始めました!

- ・ 講座情報
- ・ 暮らしやDVの相談窓口
- ・ 子育てイベント ...etc



<https://www.facebook.com/tottorishidanjyo>



男女共同参画に関連する様々な情報を発信します。お気軽にアクセスください♪